

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

令和5年 7月 12日

(宛先)
滋賀県知事

提出者

住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)
滋賀県蒲生郡竜王町薬師1166

氏名(法人にあっては、名称および代表者の氏名)
(株)小松製作所 滋賀工場
工場長 仲泉 達也

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項 → 第25条第4項
第27条第1項 → 第27条第2項において準用する同条例
第26条第1項
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項 の規定に基づき、
[事業者行動計画を策定 (変更) 事業者行動報告書を作成] したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあっては、名称および代表者の氏名)	(株)小松製作所 滋賀工場 工場長 仲泉 達也
事業者の住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)	滋賀県蒲生郡竜王町薬師1166

1 事業者の概要

事業所の名称	株式会社小松製作所 滋賀工場								
事業所の所在地	滋賀県蒲生郡竜王町薬師1166								
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	2	6	2	1	※ 産業分類・細分類名称を記載 建設機械・鉱山機械製造業			
事業の概要	建設機械の部品製造								
従業員の数	400	人	作業時間	8	時間/日				
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を県内に有する事業者							
	<input type="checkbox"/>	従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者							
	<input type="checkbox"/>	任意提出事業者							
主要な設備	ボイラ	2	台	熱源設備	10	台	照明設備	800	台
	コンプレッサ	8	台	空気調和設備	100	台	その他		

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	2	年度	報告対象年度	4	年度
	終了年度	5	年度			

3 計画の(内容・実施状況)

計画の(内容・実施状況)	別添のとおり
--------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

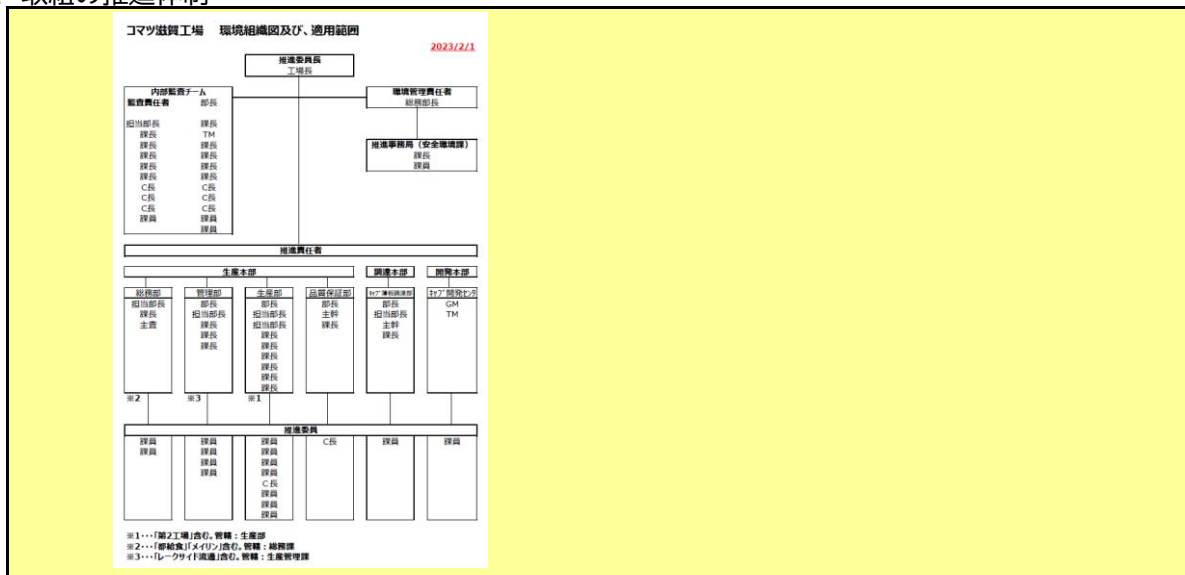
1. 基本理念

当社は、環境保全活動を経営の最優先課題の一つと位置付け、あらゆる事業活動において、先進の技術をもって環境保全に取り組み、人々の健康と豊かな社会の実現に貢献します。

2. 基本方針

- ① 当社はコマツ地球環境方針及びコマツ環境目的・目標に沿った環境目標を設定し妥当性を毎年見直すとともに、環境保全の継続的改善と環境汚染の予防に努めます。
 - ② 製品及びサービスの、性質、規模及び環境影響に対して地球環境を考慮した省エネルギー活動を行うとともに、生産性を向上し、あらゆる無駄を排除します。
 - ③ 地球環境に考慮した省資源活動を行い、資源の有効利用と産業廃棄物の発生量削減に努めます。
 - ④ 環境に関する法令、協定その他の要求事項を遵守し、企業としての責任を果たします。
- この方針を全従業員に充分理解させるとともに、広く一般に情報公開します。

2 取組の推進体制



3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

1. 「無駄の削減」省エネ活動を実施。

- ① 昼休憩時間の作業停止時の現場照明消灯
- ② 夜間、休日の工場圧縮エアーを各現場毎にバルブ閉
- ③ 生産設備のエアー漏れ削減を実施(ISO14001活動)
- ④ 事務所エアコンの冷房設定温度を適正な温度で運用
- ⑤ 生産時の無駄作業の削減

2. 設備の効率化を実施

- ① アーコンプレッサーの集約・台数制御の実施
- ② アーコンプレッサーのインバータ仕様への更新
- ③ 蛍光灯器具(事務所・防犯灯等)のLED器具への更新
- ④ 工場建替時に高天井照明器具を高効率なものを採用
- ⑤ 工場建屋に採光装置を採用して、照明を調光制御して電力削減
- ⑥ 事務所・建屋エアコンを高効率なものに更新
- ⑦ 変電設備の高圧変圧器を低損失仕様のものに更新
- ⑧ 設備の老朽更新に伴い 高効率設備導入

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	設備導入	照明器具更新の際 LED照明器具を採用	令和2年～5年	令和4年分完了
2	設備導入	生産設備更新の際 省電力生産設備を採用	令和2年～5年	令和4年分完了
3	設備導入	塗装ライン更新に伴う 電力量削減	令和2年～5年	令和4年9月完了
4	運用改善	設備(搅拌装置・ポンプ・換気扇等)の連続運転を見直しによる電力量削減	令和2年～5年	再検討中
5	運用改善	作業場のエアリー漏れ削減活動による、ムダな電力削減	令和2年～5年	令和4年分完了

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
<p>現在、省エネ法の削減目標(原単位・年1%)で温室効果ガス排出量の削減活動を実施しています。</p>	<p>令和3年度 実施予定の設備導入は完了しました。 令和4年度実施予定前倒しで屋外照明をLED照明器具に更新しました。(交換球の生産中止を受けて早急に実施)電力量半減 令和3年度は新たに高効率生産設備(2Dファイバーレーザ装置)の導入をし、省エネを積極的に推進。 令和4年度 令和5年実施予定前倒しで室内照明器具をLED照明器具に更新しました。引き続き、照明器具・高圧変圧器等の更新による省エネは継続していきます。</p>

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

	計画開始年度前年度の実績	実績報告					
		(R2)年度	(R3)年度	(R4)年度	(R5)年度	(R6)年度	
原油換算エネルギー使用量	kL	1,561	1,425	1,864	2,125		
温室効果ガス総排出量	t-CO ₂	2,416	2,171	2,987	2,976		
エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	2,416	2,171	2,987	2,976		
非エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	0	0	0	0		
CH ₄	t-CO ₂						
N ₂ O	t-CO ₂						
HFCs	t-CO ₂						
PFCs	t-CO ₂						
SF ₆	t-CO ₂						
NF ₃	t-CO ₂						
エネルギー等原単位の推移		6.973	7.670	7.832	7.713		

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

(第3面)

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	太陽光発電設備(自家消費)の設置	令和7年	計画作成中
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	令和7年、工場建屋に太陽光発電設備の導入を行うべく検討を進める。
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	0 kW	水力・小水力	0 kW	地熱	0 kW
太陽熱	0 kW	バイオマス	0 kW	その他 ()	0 kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
		(R2)年度	(R3)年度	(R4)年度	(R5)年度	()年度
再エネ電気設備での発電量	kWh	0	0	0	0	
上記のうち自家消費量	kWh	0	0	0		

(第4面)

6 事業活動を通じた他者の温室効果ガスの排出削減によりCO₂ネットゼロ社会づくりに貢献する取組

(1) 取組の内容およびその実績

取組の内容等	取組の実施状況
・ 当社はコマツ製建設機械の運転席(CAB)及び排ガス後処理装置の生産を担っていることから、ハイブリッド建設機械の生産にも寄与していることとなります。今後もCAB等生産を通じて低炭素社会づくりに貢献していきたいと考えています。	令和4年度も予定通りハイブリッド建設機械の運転席等の生産をしました。今後も計画に合わせて生産を継続していく予定です。滋賀工場での実績は2022年度CAB:340台、排ガス後処理装置:496台
	CO ₂ 削減貢献量
	t-CO ₂

(2) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

目標および目標設定の考え方
小松製作所全体として、製品使用によるCO ₂ 削減を実施していきます。目標は2010年度比2024年度24%削減です。ハイブリッド建設機械等の生産も増えて行く予定です。令和5年度以降もハイブリッド建設機械用の運転席の生産を積極的に受注していきます。

(3) 上記の取組にかかる目標の進捗に対する自己評価およびCO₂削減貢献量の算出根拠

目標の進捗に対する自己評価
予定通りにハイブリッド建設機械等の生産を実施出来ました。目標2010年度比 2024年度24%削減に対して、2020年度14%、2021年度16%です、2022年度の数字は8月公表予定。順調に推移しています。
CO ₂ 削減貢献量の算出根拠
製品使用によるCO ₂ 削減(低燃費建機、ハイブリッド建機、スマートコンストラクション普及率、ICT施工高度化、マイニング自動化、坑内掘り化)2010年度比で削減率を%で算出。

7 その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに資する取組

(1) 調整後排出係数に基づく温室効果ガス排出量の推移

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			(R2)年	(R3)年	(R4)年	(R5)年	()年度
温室効果ガス 排出量の推移	t-CO ₂	2,323	2,227	3,037	3,058		
エネルギー起源CO ₂ 【調整後排出係数】	t-CO ₂	2,323	2,227	3,037	3,058		
【調整後排出係数】	kg- CO ₂ /kWh	0.334	0.318	0.35	0.311		
特記事項							

(2) クレジット等購入

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			(R 2)年度	(R 3)年度	(R 4)年度	(R 5)年度	()年度
グリーン証書の購 入	t-CO ₂	0	0	0	0		
クレジットの購入	t-CO ₂	0	0	0	0		
特記事項							

(3) 通勤や出張など人の移動および物流における脱炭素化の取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケ ジュール	
1	通勤	在宅勤務制度の積極活用	令和2年～5年	全社員の2割程度
2	出張	WEB会議の積極活用	令和2年～5年	集まる人数を制限、会議は 原則WEB会議で運用
3				

(4) 業務で使用する車輛の脱炭素化の取組

	項目	単位	計画開始年 度前年度の 保有台数	実績報告				
				(R2)年	(R3)年	(R4)年	(R5)年	()年度
	保有車輛の数	台	5	5	5	5		
	上記のうち 次世代自動車の数	台	4	4	4	4		
特記事項								

(5) その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに向けた取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組内容	実施 スケジュール	
1	3R	廃棄物の分別、再利用化を推進し、リサイクル率90%以上の維持を目標とします。	令和2年～5年	令和4年度 98.9%
2				
3				
4				
5				